



生活者や来県者の視点から、まちの未来を考える
 主担当部局：まちづくり推進局



市町村ーまちづくり（柿の木オーナーの集い）

目指す姿

生活者や来県者の視点から「やすらぎ」・「憩い」・「もてなし」に配慮した空間づくりを進めます。また、県民が安心して住み続けられるよう、福祉・医療・文化施設や川辺等の地域資源を活用した地域を元気にするまちづくりを進めるとともに、公共交通の利用促進を図ります。

目標



●歩行空間が確保されていない通学路、バリアフリー基本構想における生活関連経路などで、

歩行空間の整備

を推進します。

●人々がいきいきと暮らせるまちづくりを推進するため、まちづくりの検討を行う協議会等の数を平成26年度に

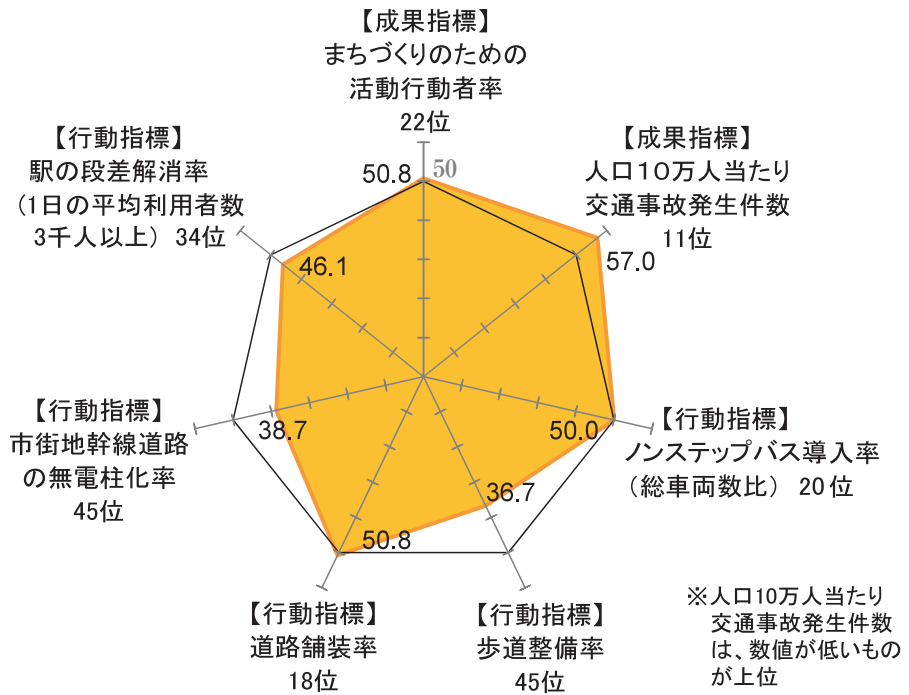
16団体

へ増やします。

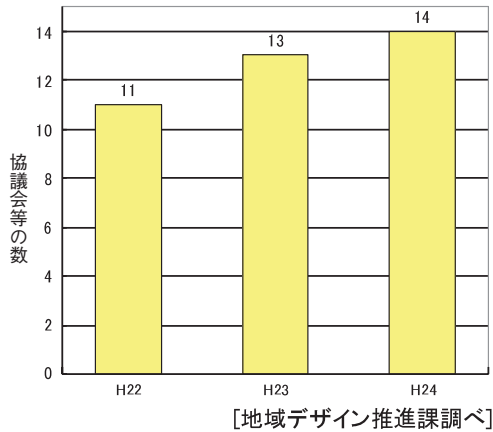
(平成24年度：14団体)

分析

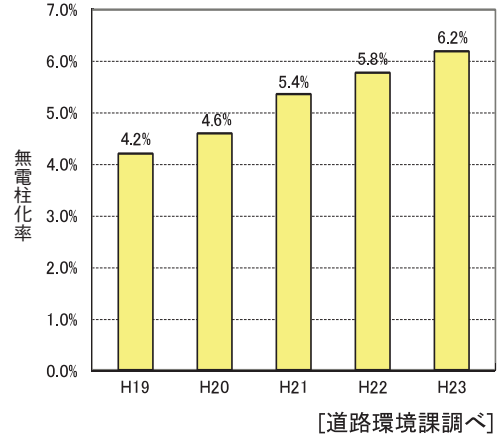
■ 主な指標



まちづくりの検討を行う協議会等の数



市街地幹線道路の無電柱化率(県管理道路)



- まちづくりの検討を行う協議会の数は僅かながら増加しており、まちづくりに対する県民の積極的な取り組みが期待できます。
- 市街地幹線道路の無電柱化率の全国順位は低いですが、歴史的風土保存区域内でも整備を促進しています。

戦略1

やすらぎや憩いを提供する空間づくりに取り組みます。

主担当課：県土マネジメント部 企画管理室

目標

- ▶ 地域活動が活発な河川において、除草・清掃等の業務を包括的に実施し、維持管理の充実を図り、**良好な河川空間の確保**を目指します。
- ▶ 大宮通りの3つの交差点付近で、平成26年度までに、地域との協働による**花のあるおもてなし空間づくり**を目指します。
- ▶ 案内誘導及び注意喚起サイン整備等を進め、**広域的な自転車ネットワークの充実**を目指します。(平成24年度末：約140km整備済)

取り組み

児童や高齢者、障害者等多くの人々が利用する箇所等での歩行空間の整備

歩行空間における、とどまり・ゆったりできる憩い空間の整備

自転車の利用促進

観光地周辺の公共空間の美装化

道路・河川などの公共施設において花のある空間づくりの推進

来県者をもてなす良好な河川空間を確保し、きれいなまちづくりを推進

無電柱化の推進



道路の無電柱化（大宮通り）



レンタサイクル「古都りん」

工程表

項目	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
児童や高齢者、障害者等多くの人々が利用する箇所等での歩行空間の整備				
◎通学路等の歩行空間の整備	→			
◎交通安全対策を実施		整備		
歩行空間における、とどまり・ゆったりできる憩い空間の整備		実施		
◎河川沿いの遊歩道整備と憩える広場整備	→			
自転車の利用促進		水辺の遊歩道の整備		
◎広域的な自転車利用ネットワークの整備、自転車利用環境の創出	サイン整備等の実施	→		
		自転車走行空間整備等の実施、広域乗り捨て型レンタサイクルの実施		
◎関係者が連携した推進体制の構築		情報発信の実施、関係機関と協議、モニタリングの実施		
観光地周辺の公共空間の美装化				
◎主要道路沿道の重点的な除草の実施	→			
		観光地や観光地を結ぶ主要道路沿道の除草を実施		
◎不法占用対策の強化		道路パトロールの実施		
道路・河川などの公共施設において花のある空間づくりの推進				
◎地域との協働による花いっぱい運動の推進	→			
		参加団体の拡充推進、花壇整備の実施		
来県者をもてなす良好な河川空間を確保し、きれいなまちづくりを推進				
◎良好な河川空間確保のための重点除草の実施	→			
		包括的な維持管理マネジメントの実施		
◎水辺空間（河川、ダム）の景観向上	→			
		河川・ダムでの彩りづくり		
◎河川美化活動団体の支援制度加入促進	→			
		実施及び活動の見える化推進		
無電柱化の推進				
◎橿原神宮東口停車場飛鳥線（飛鳥工区）	→			
		無電柱化の工事		



遊歩道の整備（秋篠川）



遊歩道の整備（飛鳥川）



沿道の花いっぱい運動（大宮通り）



河川の花いっぱい運動（菟川）

戦略2

地域性を活かした、にぎわいのある住み良いまちづくりを推進します。

主担当課：まちづくり推進局 地域デザイン推進課

目標

- ▶ 既存のインフラや新たに整備するインフラを活かして人々がいきいきと暮らせる川辺のまちづくりを目指します。
- ▶ 医科大学教育・研究部門の移転に関しては、平成33年中の新キャンパスオープンを目指します。また、教育・研究部門の移転後に生じる空地及び医大周辺については、高齢者も安心して暮らせる、まちづくりを目指します。
- ▶ 県立奈良病院周辺地域において、**住み慣れた地域で一人一人が安心して暮らし続けられるまちづくり**を目指します。
- ▶ 地域の中で安全・安心に住み続けられるよう、**高齢者等が住みよいまちづくり**を目指します。
- ▶ 市町村や交通事業者、地域住民等と連携・協力のもと、**公共交通機関を利用した便利で快適なまちづくり**を目指します。
- ▶ 土地、建物等の資産を総合的に活用する**ファシリティマネジメントの考え**方を、県や各市町村が保有する**公共施設に取り入れ、まちづくりの拠点となる施設**を目指します。

取り組み

川辺のまちづくり

医療を中心としたまちづくり

市町村一まちづくり

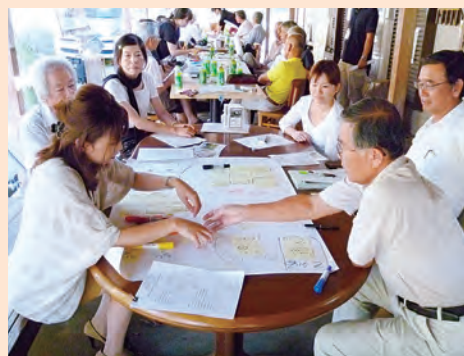
少子・高齢化社会に対応した住まい・まちづくりの推進

公共交通機関を利用した便利で快適なまちづくり

まちづくりの拠点となる公共施設等の利活用の推進



市町村一まちづくり（いもほり体験）



市町村一まちづくり（ワークショップ）

工程表

項目	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
川辺のまちづくり				
◎協議会による川辺のまちづくりの検討・整備	検討、整備			
◎医療・教育・福祉施設等の既存施設間の連携	連携強化			
◎河川空間の整備等	河川清掃、花植え等の実施			
医療を中心としたまちづくり				
◎県立医科大学の教育研究部門の移転に合わせたまちづくりの推進	新キャンパス・附属病院整備計画及び周辺まちづくりの検討			
◎県立奈良病院の整備に合わせたまちづくりの推進	まちづくりの枠組み検討	健康長寿まちづくりの推進		
市町村一まちづくり				
◎地域の特徴を活かしたにぎわいのあるまちづくりの検討・推進	検討、プロジェクトの実施			
少子・高齢化社会に対応した住まい・まちづくりの推進				
◎地域実態に応じた住生活の維持と向上の検討・推進	検討・モデルプロジェクトの実施			
◎「サービス付き高齢者向け住宅」の登録の促進	検討委員会の設置	サービス付き高齢者向け住宅登録		
◎郊外住宅地における「空き家対策」の推進等	対策検討委員会の設置	対策の推進		
公共交通機関を利用した便利で快適なまちづくり				
◎公共交通の総合的かつ計画的な施策の推進	公共交通施策の実施	新たな公共交通施策の実施		
	基本計画の検討・策定			
◎リニア奈良駅設置に向けた調査・検討	国・JR東海への要望・協議			
◎市町村のコミュニティバス等への支援	協議、施策の実施			
◎奈良交通(株)との連携協定に基づくバス交通支援	協議、施策の実施			
◎鉄道駅等のバリアフリー化	駅・周辺主要施設における移動空間の整備			
まちづくりの拠点となる公共施設等の利活用の推進				
◎利活用・整理の推進	検討、利活用方針の策定			
◎ファシリティ版奈良モデルの検討・推進	検討、市町村への展開			



河川清掃（佐保川）



河川清掃（佐保川）

これまでの成果

電線事業者と無電柱化整備を合意した道路(約26km)について、**無電柱化(約18km)を推進**しました。(平成24年3月現在)

道路・河川など公共施設において**花のある空間づくり**を推進し、**実施地区数が増加**しました。(川の彩り花つつみ事業:15地区で実施(平成25年11月現在))

佐保川や飛鳥川では**河川空間を活用**した懇談会やイベントを開催し、**地域住民主体のまちづくり**に取り組みました。

・佐保川周辺

川辺のまちづくりin大安寺西

(平成25年11月3日開催)

佐保川の春 音楽の日・アートの日

(平成25年4月:コンサート3回、企画展2回開催)

・飛鳥川周辺

飛鳥川の清掃

(平成24年10月から毎月1回実施)

灯りの路と多神社の大とんど

(平成24年から毎年1月に開催)

県立奈良病院周辺のまちづくりにおいて、まちづくり協議会やまちづくり講演会を定期的に開催し、**健康長寿のまちづくりに取り組み**ました。

知事が会長を務め、市町村長や交通事業者の代表者等から構成される**奈良県地域交通改善協議会**で奈良県における**地域交通のあり方について議論**し、県の示した**方針が概ね了承**されました。(平成25年2月20日、7月17日、10月30日開催)

主な指標の動き

よくなっている指標

◆人口10万人あたりの交通事故発生件数(件)

569.6件(全国10位)[H18] → 395.7件(全国11位)[H24]

・全国順位に大きな変化はありませんが、発生件数は大きく減少しています。

変化が見られない指標、低下している指標

◆まちづくりのための活動行動者率

13.7%(全国24位)[H18] → 13.3%(全国22位)[H23]

・率は若干減少しましたが、全国順位は若干上昇しています。



市町村一まちづくり(柿の木オーナーの集い)



市町村一まちづくり(田植え体験)

